

後期授業参観報告

教員の授業の教授法改善等を目的として、後期に授業参観を実施した。
実施要領を以下に示す。

【実施手順】

- ・実施期間内にて対象授業の参観を実施する。
- ・参観者は教室内で対象授業の参観を行い、参観レポートを記入する。
(当該レポートの様式は、後日メールにて配布する。参観を希望する教員は自身で印刷して参観に参加する。
- ・参観は業務等の関係もあるので教員への参加強制はしないが、できるだけ多くの教員に参加してもらおう。
- ・参観レポートは、各キャンパスの「学生支援課」窓口へ提出する。取りまとめ後に参観授業の担当教員へ渡す。

全体の参加者は 37 人となり、昨年度と同様、少しずつではあるが参加者が増える傾向がみられる。平成 29 年度も、授業参観の参加者を増やす方策について委員会で検討した。「授業を担当する教員の、期間中の全ての授業を参観できるようにしたらどうか」、「期間中、全ての教員の授業を自由に参観できるようにしてはどうか」などの意見もでたが、各学科・センターの事情も考慮しつつ、今後の検討課題と、引き続き、各学科・センターでの活発な議論を進めることとした。

今年度の授業参観については、以下の意見が寄せられた。

- ・教授会・学科会議等での周知は出来ているが、今後も学科内での参加促進を図る必要があると考える。
- ・授業参観の目的を明確にするとともに、授業参観できる環境（時間）を整える必要があると考える。
- ・授業①、授業②でそれぞれ 5 名、7 名の参加があった。実施後のアンケートにより、それぞれ「授業の長所」に言及した上で「自分の授業や業務に取り入れたい点」や「参観した授業の改善に参考となる意見（アドバイス）」についても多くの意見が寄せられ、授業参観を通じてお互いの教育力向上の機会になったと考えられる。（以上、管理栄養学科）
- ・センターの FD 委員は去年のようにセンターの FD 委員が 3 回の授業参観できなくて残念だった。センターの FD 委員が提供した「英会話」の授業は GDM（段階的 direct 法）[2] という教授法で進めている。文法など専門用語の解説のない教授法だ。センターが提供する授業に参観する人も去年より少なかった。ただ FD の正式なイベントではなくても

授業参観することがある。前期の都城キャンパスの授業を見に来た大学の先生がいたし、宮崎キャンパスの授業にほぼ毎週、最初の20分から30分ぐらい参加できた短大の先生がいた。FD委員のSmallも英語教育の授業に参加して、学生の模擬授業の参観などできた。報告の数値に見えないけど、Alfie KohnがWhat to Look for in a Classroom[1]に言うような文化を目指している。よい教育期間の教員たちは、気軽にお互いの授業に参加する。教員はお互いの分野や教授法から学び合う文化を目指すべきだろう。

- ・センター参観授業(英会話)アンケートに以下のコメントが書いてあった：

長所(工夫されている点)

- ・ 全学生が授業に積極的に参加している。
 - ・ 前に出て発表(板書)する学生も、特にたねらう様子は見受けられなかった。
 - ・ 教員が教室内を移動することなどが、学生の講義への積極的参加につながっていると思われた。
- (以上、教養・教職センター)

- ・ 今年度2名の教員に、複数回の授業参観の機会を提供してもらったが、参観者はFD推進委員会委員のみで一般教員の参観はなかった。少なくとも今回は、参観者を増やすために、複数回にわたり授業参観を実施したことの意味は認められなかった。

参観授業が体育と音楽室という技能系の科目であり、教室が体育館と音楽室のように一般的な授業で使用する講義室で行うものではなかったことも関係があるかもしれない。

- ・ 子ども教育学科では技能系の授業も多くあり、今後も技能系授業では参観者が少ないかもしれない。技能系の授業では、参観者がいると学生が緊張して学生には負担になり、授業を進めにくいところがあるという声もある。このような場合、学生のことを考えると何らかの工夫が必要かもしれない。
 - ・ 今回のような複数回の参観の機会を設定することについては、もう少し議論が必要なのかもしれない。
- (以上、子ども教育学科)

平成29年度授業参観 実績

●実施期間:平成30年1月16日(火)～1月29日(月) *一部、予定より早く実施

学科/ センター	教員氏名	実施日	時間	科目名	受講者 (学年)	教室	備考・留意点など	参観人数	アンケート 回収数
環境園芸	姜 暁求	1月17日(水)	3限目	農業経済学	6人 (2年生)	都城キャンパス (1103)		2	2
	廣瀬 大介	1月15日(月)	1限目	作物学各論II	5人 (3年生)	都城キャンパス (1208)		3	2
	岡島 直方	1月11日(木)	2限目	建築学概論	15人 (3年生)	都城キャンパス (1208)		2	2
管理栄養	杉尾 直子	1月16日(火)	1・2・3・4 限目	食事計画論実習Ⅱ	56人 (2年生)	宮崎キャンパス (1106)	1・2限:2年2組 3・4限:2年1組	5	5
	渡邊 純子	1月16日(火)	1・2・3・4 限目	栄養教育論実習Ⅱ	69人 (3年生)	宮崎キャンパス (1609)	1・2限:3年2組、3・4限:3年1組 コミュニケーションスキル習得のため 「日本茶インストラクター」による講 話・実習含む	7	6
食品開発科	寺原 典彦	1月19日(金)	2限目	食品分析学	44人 (1年生)	宮崎キャンパス (1406)		1	1
	中瀬 昌之	1月18日(木) 1月25日(木)	1限目	食物アレルギー論	18人 (3年生)	宮崎キャンパス (1411)		7	4
		1月18日(木)	3限目	健康食品概論	27人 (2年生)	宮崎キャンパス (1411)		1	
		1月19日(金) 1月26日(金)	3・4限目	食品学実験Ⅱ	37人 (2年生)	宮崎キャンパス (1508)		5	5
子ども教育	早川 純子	1月18日(木), 23日(火), 25日 (木), 26日(金)	4限、26日 のみ1限	教科教育法(音楽)	43人 (3年性)	都城キャンパス(音楽 演習室)	前方ドアより入室	1	1
	宮内 孝	1月18日(木)	2限目	幼児体育	36人 (1年生)	都城キャンパス (体育館)	体育館シューズ、スリッパ等を持参	1	1
教養・教職 センター	スモール, ブラ イアン	1月22日(月)	3限目	英会話I	管理栄養・ 食品開発科 1年生	宮崎キャンパス (1217)	GDM教授法(「ライブ」と「ペアーワー ク」を取り入れた参加型学習)	2	1
								37人	30